

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-65929

(43) 公開日 平成9年(1997)3月11日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 5 F 3/04

A 4 5 C 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 5 F 3/04

A 4 5 C 11/00

技術表示箇所

F

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-248692

(22) 出願日 平成7年(1995)9月1日

(71) 出願人 595137044

株式会社▲よこ▼山本社

名古屋市中区平和一丁目15番27号

(72) 発明者 横山 和幸

名古屋市中区平和一丁目15番27号 株式会
社▲よこ▼山本社内

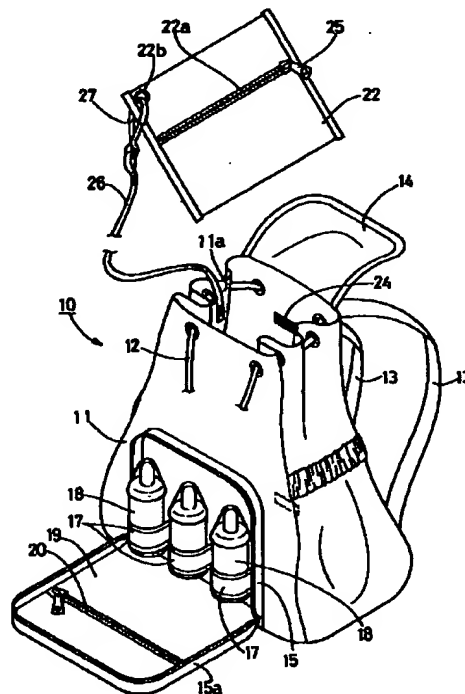
(74) 代理人 弁理士 園部 祐夫 (外1名)

(54) 【発明の名称】 リュックサック

(57) 【要約】

【課題】 母親が乳幼児を連れて外出するとき使用するに適したリュックサック10を提供すること

【解決手段】 リュックサック本体11の外面に、前面15aを開閉可能なポケット15を設けるとともに、該ポケット15の内部に哺乳瓶17を縦に保持できる複数のホルダー18を設ける。リュックサック本体11の外面に哺乳瓶を収納するためのポケット15を設けたので、おむつや着替えと一緒に哺乳瓶17をリュックサック本体11に収納しなくても済む。また、ホルダー18で複数の哺乳瓶17を縦に保持するので、リュックサック10を背負って歩行するとき哺乳瓶17同士が当たって破損したり中味が漏れてリュックサック10の収納物が汚れるのを防止できる。さらに、ポケット15は前面15aを開閉できる構成としたので、必要なときにすばやく哺乳瓶17を取り出すことができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 リュックサック本体の外面に、前面を開閉可能なポケットを設けるとともに、該ポケットの内部に哺乳瓶を縦に保持できる複数のホルダーを設けたことを特徴とするリュックサック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はリュックサックに関する。

【0002】

【従来の技術】 母親が乳幼児を連れて外出する場合、交換用のおむつや着替え等をリュックサックに収納して肩に背負えば、両手が自由に使えるので、甚だ好都合である。ところで、おむつや着替え等は折り畳むことができるので、リュックサックに収納しても嵩張らないが、乳幼児を連れて外出するときに不可欠な哺乳瓶はリュックサックに収納するには納まりが悪く、とりわけ何本もの哺乳瓶を携帯する場合には嵩張るうえ、歩行時の揺れで瓶同士が当たって破損したり、中味が漏れて一緒に収納したおむつや着替えを汚すおそれがある。また、おむつや着替えと一緒に哺乳瓶を収納すると、哺乳瓶がおむつ等に紛れ込むので、取り出すときに手間がかかる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は上記の問題点に鑑み、母親が乳幼児を連れて外出するときに使用するに適したリュックサックを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明に係るリュックサックはリュックサック本体の外面に、前面を開閉可能なポケットを設けるとともに、該ポケットの内部に哺乳瓶を縦に保持できる複数のホルダーを設けたことを特徴とする。

【0005】

【発明の作用・効果】 本発明に係るリュックサックによれば、リュックサック本体の外面に哺乳瓶を収納するためのポケットを設けたので、おむつや着替えと一緒に哺乳瓶をリュックサック本体に収納しなくても済む。また、ホルダーで複数の哺乳瓶を縦に保持するので、リュックサックを背負って歩行するとき哺乳瓶同士が当たって破損したり中味が漏れてリュックサックの収納物が汚れるのを防止できる。さらに、ポケットは前面を開閉できる構成としたので、必要なときにすばやく哺乳瓶を取り出すことができる。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下に本発明を図面に基づき説明するに、図1及び図2には本発明の一実施形態に係るリュックサック10が示されている。当該リュックサック10の本体11は布あるいは革等の柔軟材料を袋状に縫製したものであって、上部に開口11aを有し、開口11aの周縁には開口11aをすばめるための紐が挿通さ

2

れている。リュックサック本体11の背当部側には肩掛けベルト13が2本取付けられ、背当部の上端には開口11aを開閉する布製の蓋14が縫着されている。一方、リュックサック本体11の前面外側にはポケット15が設けられている。ポケット15は前面から見た形状が長方形の箱形を有し、左側面から上面及び右側面にかけて縫着した1本のスライドファスナー16によりポケット15の前面15aを前後方向に開閉することができる。ポケット15の内部には哺乳瓶17を縦に保持できる3組のホルダー18が横一列に設けられている。このホルダー18はポリエチレンや塩化ビニール等の薄手のプラスチック製ベルトをリュックサック本体11の前面に縫着することにより構成されており、各ホルダー18には哺乳瓶17が上下方向に抜き差し自在に挿入できる。また、ポケット15の前面15a内側にはポリエチレンや塩化ビニールシート等を縫着して防水性を有する内ポケット19が形成されている。この内ポケット19はスライドファスナー20で開閉できる。

【0007】 リュックサック本体11にはクッション体21と使用済みのおむつを収納するための袋22が収納されている。クッション体21は図3ないし図5に詳細を示すように、平面形状が長方形の偏平な形態を有し、横一列に並べた3枚の発泡ポリエチレン製のクッションパッド21aの表裏を2枚の塩化ビニール製の表皮シート21bで被い、2枚の表皮シート21bの周縁を塩化ビニール製の縁布21cとともに縫着して構成され、表皮シート21bの表面にはクッションパッド21aの境目に沿って2枚の表皮21bを熱溶着することにより折り目線21dが形成されている。クッション体21は図3に示すように拡開したとき乳幼児を寝かせるに必要な大きさを有し、かつ図4に示すように3つ折に折り畳んでリュックサック本体11に収納するときはリュックサック本体11の背当部とほぼ同じ大きさとなるように寸法が定められている。また、クッション体21には2箇所にベルベットファスナー23が縫着されている。一方、リュックサック本体11の背当部内側にはクッション体21のベルベットファスナー23と対を成すベルベットファスナー24が縫着されているので、折り畳んでリュックサック本体11に収納したクッション体21を背当部に着脱自在に取付けることができる。

【0008】 使用済みおむつ収納用の袋22はポリエチレン、塩化ビニール等の半透明な防水材料からなり、スライドファスナー25で開閉される開口22aから使用済みのおむつを収納したり取り出すことができる。この収納用の袋22の上部角隅には穴が形成され、該穴に補強用の金属製リング22bが嵌め込まれている。一方、リュックサック本体11の内面に紐26の一端が縫着され、該紐26の他端にフック金具27が連結されている。袋26はこのフック金具27を着脱自在にリング22bに掛留することによりリュックサック本体11に繋

3

留されている。

【0009】本実施形態に係るリュックサック10は以上の構成からなり、リュックサック本体11の前面外側に哺乳瓶17を収納するためのポケット15を設けたので、おむつや着替えと一緒に哺乳瓶17をリュックサック本体に収納しなくても済む。また、ホルダー18で複数の哺乳瓶17を縦に保持するので、リュックサック10を背負って歩行するとき哺乳瓶18同士が当たって破損したり中味が漏れてリュックサック10の収納物が汚れるのを防止できる。さらに、ポケット15は前面を開閉できる構成としたので、必要なときにすばやく哺乳瓶17を取り出すことができる。また、リュックサック本体11の背当部内側にクッション体21を着脱自在に取付けたので、リュックサック10を背負ったときの背中にかかる負担を軽減できる。このため、重い荷物をリュックサック10に入れて長時間、外出しても疲労が少ない。さらに、リュックサック本体11からクッション21体を取り出して拡開し、その上に乳幼児を寝かせることができるので、外出先で乳幼児のおむつを交換するとき、はなはだ便利で使い勝手が良い。また、本実施形態に係るリュックサックにおいてはリュックサック本体11とは別体のおむつ収納用の袋22に使用済みのおむつを収納できるので、リュックサック本体11の他の収納物を使用済みのおむつによって汚すおそれなく衛生的である。しかも、おむつ収納用の袋22を紐でリュックサック本体11に紐26で繋留したので、外出先で紛失するおそれもない。さらに、リュックサック本体11からおむつ収納用の袋22を取り出した上で使用済みのおむつを収納できるだけでなく、収納用の袋22を半透明

4

にして収納物の確認ができるようにしたので、甚だ使い勝手が良好である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係るリュックサックを示す斜視図である。

【図2】同リュックサックのクッション体を取り出すとともに、ポケットを開いた状態を示す斜視図である。

【図3】同リュックサックのクッション体の拡開した状態を示す斜視図である。

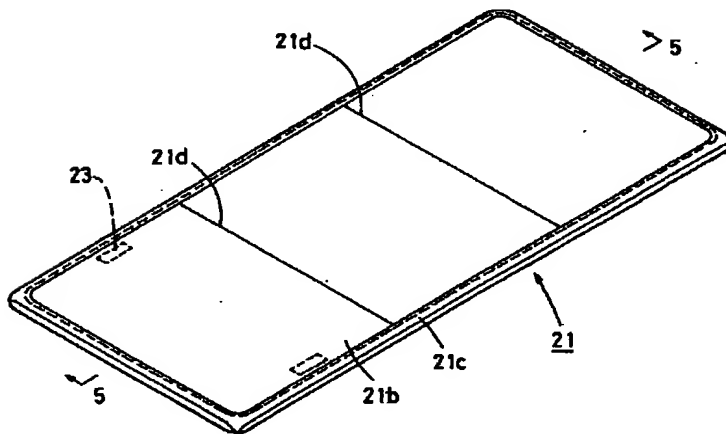
【図4】同クッション体の折り畳んだ状態を示す斜視図である。

【図5】同クッション体を図3に示す5-5線から切断した断面図である。

【符号の説明】

10→リュックサック 11→リュックサック本体 11a→上部開口
12→紐 13→肩掛けベルト 14→蓋 15→ポケット
15a→ポケットの前面 16→スライドファスナー
17→哺乳瓶
18→ホルダー 19→内ポケット 20→スライドファスナー
21→クッション体 21a→クッションパッド 21b→表皮
21c→縁布 21d→折り目 22→使用済みおむつの収納用袋
23→ベルベットファスナー 24→ベルベットファスナー
25→スライドファスナー 26→紐 27→リング

【図3】



【図4】

